

四国も梅雨入り！！

平年より早く、そして昨年より少し遅れて、四国地方は梅雨入りしました。この時期は降水量が増えるため、特に業務で運転される配送員の皆様は、雨に対する一層の注意が必要です。そこでアストモスガスセンター四国として安全な運行を確保するため、以下の点に留意し、徹底した安全対策を行っております。

①視界確保と運転環境の整備

・梅雨の時期はワイパーの劣化やフロントガラスの曇りにより視界不良が発生しやすくなります。早めにヘッドライトを点灯し、周囲への注意を促しています。また、サイドミラーの水滴除去や曇り止めの活用も視認性向上に役立ちます。

②路面状況への対応と車両管理

・雨の日は路面が滑りやすくなり、特に制動距離の増加やハイドロプレーニング現象に注意が必要です。運行前には必ずタイヤの溝や空気圧を定期的に確認し、路面でのグリップ力を維持するよう心掛けています。

③走行時の安全確保と歩行者対策

・晴天時よりも視界が悪く、路面の状況も変化しやすいため、速度を落とし急発進、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転は避け、余裕を持った操作を心がけています。トラックの車体が大きいいため、特に交差点での右左折時や後退時には、巻き込み事故を防ぐために死角の確認を徹底することが重要です。目視だけでなく、ミラーや補助装置も活用し、周囲の安全を十分に確認しています。

雨の日の運転では、事前点検、慎重な走行、周囲への配慮が事故防止につながります。梅雨時の安全運転を徹底し、安全に業務を遂行できるよう対策を講じ、日々の配送業務に努めています。

